

授業科目名	疾患別理学療法Ⅷ(スポーツ障害)	授業形態	演習	配当学期	2年(前期)
担当教員名	平塚 将嗣	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>スポーツ傷害の理学療法は、特別な分野でなく理学療法の中の極一部にしか過ぎない。従って、他の分野における理学療法の考え方もよく理解した上で、それらを応用出来る知識や技術を身に付ける。特に臨床運動学や整形外科学などの知識を応用し、スポーツ全般の障害像をとらえる事を目的とする。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>スポーツ傷害の発生要因やスポーツ傷害部位別に代表的な症状を理解し、アスレチックリハビリテーションにとって何が重要かを考える。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	スポーツリハビリテーションの概要				
第 2 回	スポーツによる疲労骨折のメカニズム				
第 3 回	トレーニングと栄養摂取について、スポーツ現場での緊急時の対応				
第 4 回	整形外科的検査①(演習)				
第 5 回	整形外科的検査②(演習)				
第 6 回	スポーツ障害 評価(柔軟性、可動域、筋力)				
第 7 回	スポーツ障害 評価(スタティックアライメント・ダイナミックアライメント)				
第 8 回	メディカルチェック①(演習)				
第 9 回	メディカルチェック②(演習)				
第 10 回	各論①肩・肘：投球障害(骨軟骨障害、内側側副靱帯損傷、etc)				
第 11 回	各論②膝：前十字靱帯損傷				
第 12 回	各論③膝：半月板損傷				
第 13 回	各論④足部：足関節捻挫				
第 14 回	テーピング(演習)				
第 15 回	テーピング(演習)				
評価方法	期末試験にて評価します。(100%)				
教科書 参考図書	〔教科書〕 なし				
	図解スポーツ障害のメカニズムと予防のポイント 文光堂 〔参考図書〕 アスレチックリハビリテーション～競技復帰までのプログラミング～ 南江堂 理学療法MOOK9 スポーツ傷害の理学療法				
履修上の 留意点	授業はスライドとビデオ、および実技デモンストレーションにて行います。また、教科書は特に定めないので、授業にはノートを用意してください。				
メッセージ	講義の中では、アスレチックリハビリテーションを考えると同時に、他の分野から応用されていることや他の分野へ応用できることが多々あると思います。その中で、健康医学や予防医学の分野への関心が深められるようになってください。				